

アビリンピック(障害者技能競技大会)について

アビリンピック（障害者技能競技大会）について

アビリンピックは、障害のある方が技能労働者として、その職業能力の向上を図るとともに、広く障害のある方の雇用に対する社会の理解と認識を高め、その雇用の促進と地位の向上を図ることを目的として開催され、障害のある方（15歳以上）が職業技能を競う大会です。

＜職業技能競技種目＞

義肢製作、家具、コンピュータプログラミング、機械CAD、建築CAD、英文DTP、洋裁、パソコン組立、ホームページ作成、電子機器組立・テスト、英文ワープロ、フラワーアレンジメント、データベース 等

全国アビリンピック

全国アビリンピックは、1972年（昭和47年）から国際アビリンピック開催年を除いて毎年開催され、各都道府県の代表選手が出場し技能を競う。

- 主催：開催県
（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構
- 近年の開催実績：

第30回大会（平成20年）千葉県	20種目243人
第31回大会（平成21年）茨城県	21種目267人
第32回大会（平成22年）神奈川県	22種目267人
- 次回大会：

第33回大会（平成24年）長野県

全国アビリンピック成績優秀者を
国際大会に派遣

国際アビリンピック

国際アビリンピックは、1981年（昭和56年）国連が定めた国際障害者年を記念して、同年、第1回大会を東京で開催。国際親善を図ることも目的としており、おおむね4年に1度開催。

- 主催：開催国の障害者団体
- 近年の開催実績：

	参加国・地域	参加日本選手
第5回大会（平成12年）チェコ・プラハ	29	36人
第6回大会（平成15年）インド・ニューデリー	33	25人
第7回大会（平成19年）日本・静岡	34	93人

＜第8回 国際アビリンピック（ソウル大会）の概要＞

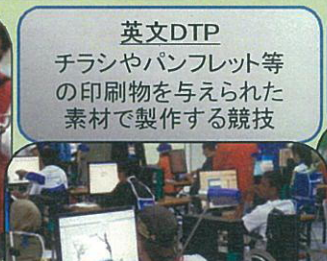
- 日程：平成23年9月25日～30日
 - 参加者数：52カ国・地域 1,533人（うち職業技能競技選手 36カ国・地域 延451人）
日本選手団 97名（うち職業技能競技選手16種目 31人）
 - 職業技能競技：33種目
 - 結果：金賞 韓国15個、台湾5個、中国3個、日本2個
日本選手 金賞2個（義肢製作、データベース（基礎））、銀賞4個、銅賞7個
- ※ 写真は全て第8回国際アビリンピック大会の様子



強化指導
大会出場に向け、障害者職業能力開発校において指導員による派遣選手の強化指導



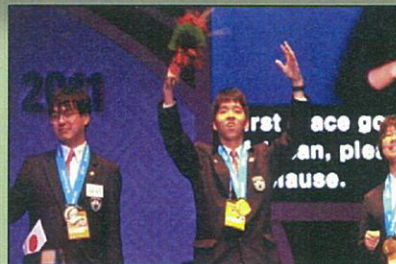
義肢製作
体と義足をつなぐ部分の「ソケット」を製作する競技



英文DTP
チラシやパンフレット等の印刷物を与えられた素材で製作する競技



電子機器組立・テスト
与えられた材料で、「液面計」を組立て、正確に動作するかを競う競技



表彰式
データベース（基礎）競技で金賞・銀賞を受賞し表彰される日本選手



国際親善
他国の選手と手話を通じて交流を図る日本選手

報道関係者 各位

平成 23 年 9 月 30 日

【照会先】

職業能力開発局 能力開発課

主任職業能力開発指導官 谷 直樹

課長補佐 渡邊 裕

(代表電話) 03(5253)1111(内線 5927)

(直通電話) 03(3502)6957

(独)高齢・障害者雇用支援機構

雇用開発推進部長 川村 徹宏

雇用推進課長 渡辺 徹人

(直通電話) 03(5400)1620

第 8 回 国際アビリンピック（ソウル大会）の 入賞者が決まりました

9 月 25 日（日）から 6 日間にわたり、大韓民国ソウル市で開催されていた「第 8 回国際アビリンピック」は本日 30 日（金）に閉会し、計 18 人の日本選手が入賞する成果を収めました（詳細別添 1）。

国際アビリンピックは、障害者の職業的自立の意識を喚起するとともに、事業主や社会一般の理解と認識を深め、さらに国際親善を図ることを目的として、おおむね 4 年に 1 度開催されている大会です。

ソウル大会には、52 カ国・地域から 1,481 人が参加し、職業技能競技には、36 カ国・地域から 436 人の選手が参加しました。日本からは 16 種目に 31 人が出場し、金賞を 2 人、銀賞を 4 人、銅賞を 7 人が獲得したほか、5 人が特別賞を受賞しました。

本大会では、「職業技能競技」の他、障害者の雇用政策や支援機器、障害者を支援する団体や企業の紹介などを行う「展示・デモンストレーション」などが行われました。

○ (別添 1) 第 8 回 国際アビリンピック入賞者一覧

○ (別添 2) 受賞者の歓びの声

第8回 国際アビリンピック入賞者一覧

(金賞)

参加種目	氏名	都道府県	勤務先又は所属団体名
義肢製作	ばば すすよし 馬場 末義	鹿児島	株式会社中礼義肢製作所
データベース(基礎)	きど てるひろ 木戸 健裕	山口	山口県立山口総合支援学校

(銀賞)

参加種目	氏名	都道府県	勤務先又は所属団体名
家具(応用)	やまもと よしのり 山本 嘉則	神奈川	相模装備株式会社
機械CAD	たまよせ りょう 玉寄 涼	愛知	アイシン精機株式会社 工機工場
データベース(基礎)	せきの けんじ 関野 賢志	神奈川	ふれあい活動ホーム 第2あかしあ
洋裁(基礎)	おがた ゆうき 尾形 勇旗	千葉	株式会社ユニクロ 東京ドーム シティラクーア店

(銅賞)

参加種目	氏名	都道府県	勤務先又は所属団体名
英文DTP	よねざわ つとむ 米澤 勉	長野	社会福祉法人ながのコロニー 長野福祉工場
データベース(応用)	やお なおこ 八百 奈央子	兵庫	Spring 8 財団法人高輝度光 科学研究センター
データベース(応用)	かどた まさゆき 門田 雅行	愛媛	アジリティシステム株式会社
ホームページ作成	あわさき たかゆき 栗崎 高行	京都	オムロン パーソネル株式会社
コンピュータ組立	しみず しんご 清水 信吾	千葉	株式会社EOSファーム
コンピュータ プログラミング	かつざわ たかし 勝澤 崇	静岡	矢崎総業株式会社
洋裁(基礎)	もくた はるか 奎田 悠	愛知	有限会社アビス

(特別賞)

参加種目	氏名	都道府県	勤務先又は所属団体名
英文DTP	はしの ともえ 橋野 友絵	岡山	株式会社旭化成アビリティ 水島営業所
建築CAD	きんじょう まみ 金城 真美	沖縄	有限会社新垣設備
電子機器 組立・テスト	いがらし あきひろ 五十嵐 彰宏	茨城	株式会社日立ハイテクノロジー ズ 那珂事業所
義肢製作	いしかわ よしのが 石川 芳伸	茨城	株式会社幸和義肢研究所
フラワーアレンジ メント	わたなべ ゆかり 渡邊 由加里	愛媛	えひめスタジオ

受賞者の歓びの声

- 馬場 末義 (ばば すえよし) <義肢製作 金賞>
「皆様のおかげで金賞を取ることができました。どうもありがとうございました。
右手に軽度の麻痺がある中で受賞できたことがうれしいです。」
- 木戸 健裕 (きど てるひろ) <データベース (基礎) 金賞>
「ここまで来られたのは応援してくださった皆様のおかげです。金賞を取れたことを大変誇りに思います。」
- 山本 嘉則 (やまもと よしのり) <家具 (応用) 銀賞>
「うれしいです。最高ですよ。本当にありがとうございました。」
- 玉寄 涼 (たまよせ りょう) <機械CAD 銀賞>
「少し悔しい気持ちはありますが、最高にうれしいです。」
- 関野 賢志 (せきの けんじ) <データベース (基礎) 銀賞>
「韓国の人が強いと思ったが、銀賞を取れてうれしかった。世界の人に私の実力を見せることができました。」
- 尾形 勇旗 (おがた ゆうき) <洋裁 (基礎) 銀賞>
「すごくうれしい。練習の成果が出せました。」
- 米澤 勉 (よねざわ つとむ) <英文DTP 銅賞>
「競技終了後は全く自信がありませんでしたが、受賞のご報告をいただいて大変うれしく思いました。ありがとうございました。」
- 八百 奈央子 (やお なおこ) <データベース (応用) 銅賞>
「本番で少し緊張して十分に納得したものが提出できなかったのが残念でしたが、それでもメダルを取ることができて良かったです。」
- 門田 雅行 (かどた まさゆき) <データベース (応用) 銅賞>
「前日出された課題のボリュームが多く、準備が十分できなかったが、それでも銅メダルが取れたのでうれしく思います。チャンスがあれば、また上を目指したいです。」

- 栗崎 高行（あわさき たかゆき） <ホームページ作成 銅賞>
「ここまでこれたのも家族と会社の方をはじめ、応援して下さった皆様のおかげと感謝しています。日本に受賞のお土産を持って帰ることができてよかったですと思います。」
- 清水 信吾（しみず しんご） <コンピュータ組立 銅賞>
「持ち込むべき道具を勘違いして持ってこず、急きょレンタルして対応することになりましたが、なんとか銅賞に入ることができました。」
- 勝澤 崇（かつざわ たかし） <コンピュータプログラミング 銅賞>
「短時間で完成させるため、今回初めて使う機能を試行錯誤しながら使いました。完成度は低くしても完成させられて良かったと思います。出場する機会を与えていただいて本当にありがとうございました。」
- 柰田 悠（もくた はるか） <洋裁（基礎） 銅賞>
「メダルを取れると思っていたので、うれしかったです。がんばりました。」
- 橋野 友絵（はしの ともえ） <英文DTP 特別賞>
「自分でどこが良くなかったかわかっているので、とても悔しいです。賞をもらって帰れるのは良かった。」
- 金城 真美（きんじょう まみ） <建築CAD 特別賞>
「今の実力は全部出し切りましたが、メダルには至りませんでした。でも、特別賞に入賞ということで満足しています。」
- 五十嵐 彰宏（いがらし あきひろ） <電子機器組立・テスト 特別賞>
「精一杯頑張ったので、自分なりの成績を出せることができました。最高です。本当にありがとうございました。」
- 石川 芳伸（いしかわ よしのぶ） <義肢製作 特別賞>
「こういうところに出していただき感謝しています。特別賞という結果でしたが、精一杯頑張ったのでこれが実力なのでしょう。」
- 渡邊 由加里（わたなべ ゆかり） <フラワーアレンジメント 特別賞>
「次の目標、めざすスタート地点がわかったような気がします。日本人として恥ずかしくない戦いができたことを誇りに思います。」

平成 24 年 2 月 22 日

【照会先】

職業能力開発局 能力開発課

主任職業能力開発指導官 谷 直樹

課長補佐 渡邊 裕

(代表電話) 03(5253)1111(内線 5927)

(直通電話) 03(3502)6957

(独)高齡・障害・求職者雇用支援機構

雇用開発推進部長 川村 徹宏

雇用推進課長 渡辺 徹人

(直通電話) 03(5400)1620

報道関係者 各位

第 8 回 「国際アビリンピック」(障害者技能競技大会)の 金メダリスト 2 名に内閣総理大臣表彰を授与

平成 23 年 9 月に開催された、障害者を対象とした職業技能を競う国際大会、「第 8 回国際アビリンピック」(於：韓国・ソウル)へ日本選手団として派遣され、金メダルを獲得した馬場末義さん(鹿児島県・義肢製作)と、木戸健裕さん(山口県・データベース〔基礎〕)の 2 名に、内閣総理大臣から「障害者技能表彰」(※)が授与されることが決定しました。表彰式は、2 月中に開催する予定です。

障害者技能表彰者(第 8 回 国際アビリンピック金メダリスト)一覽

参加種目	氏名	都道府県	勤務先、所属団体名
義肢製作	馬場 末義	鹿児島	株式会社中礼義肢製作所
データベース(基礎)	木戸 健裕	山口	山口県立山口総合支援学校

「義肢製作」：与えられた石膏モデルと材料を使って、PTB式下肢義足の内側軟質インサートソケットと外側硬質ソケットを作成し、完成度を競う競技

「データベース(基礎)」：パソコンを使用して、定められたデータ入力と入力済みのデータを編集し、正確に入力・編集されたデータの数を競う競技

※「障害者技能表彰」とは

障害のある人の職業能力の向上を図るとともに、広く障害のある人に対する社会の理解と認識を高め、その雇用の促進を図ることを目的に創設されました。(1)独立行政法人高齡・障害・求職者雇用支援機構が派遣した国際アビリンピックでの金賞受賞者に対しては、内閣総理大臣が表彰を行い、(2)全国障害者技能競技大会で成績優秀者に対しては、厚生労働大臣が表彰を行います。